

沿岸海洋シンポジウム
「沿岸海洋学における観測研究の最前線Ⅱ～衛星観測」

主 催：日本海洋学会沿岸海洋研究会
共 催：一般社団法人水産海洋学会，日本リモートセンシング学会
日 時：2015年9月26日（土） 9：40～19：00
場 所：愛媛大学（松山市文京町3）
コンビーナー：石坂丞二（名大水循環セ），亀田卓彦（水研セ西海水研），作野裕司（広大院工），
 虎谷充浩（東海大工），森本昭彦（愛媛大沿岸セ）

挨拶：門谷 茂（沿岸海洋研究会会長，北大院環境） 9：40～9：50
趣旨説明：石坂丞二（名大水循環セ） 9：50～10：00

第一部 観測研究の最前線

座 長：森本昭彦（愛媛大沿岸セ）

1. 海色センサー（GCOM-C/SGLI）	村上 浩（JAXA EORC）	10：00～10：30
2. 高解像度センサー（可視・SAR）	磯口 治（RESTEC）	10：30～11：00
3. 沿岸海面高度計	市川 香（九大応力研）	11：00～11：30
4. 静止海色衛星センサー	石坂丞二（名大地水セ）	11：30～12：00
— 休 憩 —		12：00～13：30

座 長：作野裕司（広島大工）

5. 衛星リモートセンシングによる富栄養化の評価と藻場マッピングの現状と課題	寺内元基（環日本海環境協力セ）	13：30～14：00
6. 衛星データを活用した漁場・資源情報提供の取り組み 高木信夫（長崎水試）		14：00～14：30
7. 赤潮発生監視と被害軽減への取り組み 宮村和良（大分農林水産研究指導セ）		14：30～15：00
— 休 憩 —		15：00～15：15

座 長：亀田卓彦（水研セ西海水研）

8. 沿岸域のデータ同化にむけて	石川洋一（JAMSTEC）	15：15～15：45
9. 衛星データの水産利用と沿岸への応用	斎藤克弥（JAFIC）	15：45～16：15
10. 沿岸環境評価のための衛星リモートセンシングの現状と課題	作野裕司（広大院工）	16：15～16：45

総合討論

座 長：石坂丞二（名大水循環セ）・森本昭彦（愛媛大沿岸セ） 16：45～17：00
 — 休 憩 — 17：00～17：15

第二部 GCOM-C の利用

座 長：虎谷充浩（東海大工） 17：15～19：00

開催趣旨：衛星観測はこれまで主に外洋域で利用されてきたが，今後，沿岸域においても利用が活発化することが期待される．第一部として，最近打ち上げられたり，打ち上げが予定されたりしている衛星センサーの中で，特に沿岸で利用可能なものについて紹介する．また，これらのデータを，沿岸の研究や管理のために現場観測やモデルと合わせてどう利用していくかに関して述べ，今後進めるべき新しい沿岸海洋学の姿を探りたい．続いて第二部として，2016年度に打ち上げられる予定のGCOM-Cを中心に，その検証と応用に関して議論する場を設ける．